

意見書

委員の皆様、庶務の皆様、いつもお世話になってます。

ご努力されておられるお力に、敬意を表したいと思います。

昨今、何かと話題になるリエダム建設計画ですが、

伊賀市民に何をもちがらすのか、新聞、TVの報道が多くなって来ましたが、

「日本一高い水道代になる!？」との報道があったのちは、市民も
さおびに驚いて、私たちの会に声が届くようになりまして、

ガソリンが、高くなり、食品も次々値上げしてゆくに、水道代までか!と、

5月10日の新聞で、ダム推進住民の集会在、記事になっています。

(いしよに、FAXしましたので、ごらん下さい。)

わが市の首長である今岡氏は、「いしかげんに、議論を終えてくれ」と、発言したもようです。

流域委員会、皆様 (にかかわる全ての) の、お働きを、中傷する内容だと思いました。

又、法治国家の元で、首長を、勤める人と思えぬ発言ではありませんが、
市民の支払う水道代は、どうする、とか、具体的説得力ある内容は、
無いのです。

のような集会には、近畿地方整備局の谷本河川部長も出席されて、
発言内容が、記事となっています。

流域委員会の意見に反論し、強行突破の構えとみました。

権力の乱用、以外の、何処でも無い、と思います。

2008. 5. 12.

伊賀・水と緑の会 浜田不二子

■2008年5月10日 朝日新聞(伊賀版) 13版32面

2008年(平成20年)5月10日

土曜日

13版

伊賀 32

「議論終えて建設を」



川上ダム意見交換会

住民団体も要望書

伊賀市の淀川水系に計画されている川上ダムの、水没予定地やダム上下流の住民団体などをつくる「川上ダム建設促進期成同盟会」(西山甲平会長、20団体)の意見交換会が9日、伊賀市種生の青山ハーモニー・フォレストで開かれた。約100人が参加し、国土交通省近畿地方整備局から出席した谷本光司・河川部長らにダムの早期建設を要望。同会長が、同整備局や県などに早期建設の要望書を提出した。谷本部長は建設に意欲を示した。(前田智)

川上ダムの早期建設を求める声が相次いだ意見交換会。伊賀市種生のほかに、今岡陸之・伊賀市長、原稔明・関西支社長、県の宮崎純則・流域整備分野総括室長らも出席した。同ダムについては、「淀川水系河川整備計画」の原案を審議している同整備局の諮問機関「淀川水系流域委員会」(谷本博司委員長)が先月、川上ダムを含む4ダムの建設は現段階では適切ではないとする意見書をまとめ、

原案の再提示を同整備局に求めている。こうした状況に、今岡市長はあいさつで「いいかげんに流域委員会の議論を終え、河川整備計画を作ってほしい」と発言。ほかの参加者からも「いつまで委員会で議論を続けるのか。河川法では学識経験者と住民、自治体から意見を聞くとなっているが、流域委員会に振り回されている」などと、ダムの早期建設を求める声が続出した。要望書では「流域委員会の意見に惑わされることなく、速やかに淀川水系河川整備計画を策定し、川上ダムの早期完成に向けて万全の体制で必要な手続きを進めるように」と求めた。

谷本部長は、原案の再提示要求について触れ「原案はたたき台であり、何度も作り直すものではなく、様々な意見を踏まえて案を作る」と再提示しないことを説明。13日に大阪市で開かれる淀川水系流域委員会で同整備局として意見書に反論し、その後は川上ダム建設を盛り込んだ整備計画案を早期に策定して、関係する6府県の知事に意見を求める方針を示した。

伊賀

※記事掲載については新聞社の許可を得ております。